レポート

( ＿＿＿＿＿＿)　 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

のをよくんで、にえていきましょう。これは、グループディスカッションのにしますので、までしっかりとしてください。

におけるキャリアのなえ

の４は、がらのをげ、をし、・にけてなとなるやをきげていくです。では、から・へのをえ、にわたるなキャリアになやスキル、をし、らの・の・をしたキャリアをしています。

1　について

までなりたいと思った“”があれば、にならってきだしてみよう()。もげてみよう。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | |  | (例：、、サッカー、ケーキさん、、、デザイナー、ゲーム、、、、・・・) | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  | | 1～2 |  | |  |  |   ※までに・・・2017なりたいランキング7「ユーチューバー」 |

2　について(1)

「」とはどのようなか、をべてきしてみよう。

|  |
| --- |
| とは・・・  （/インターネットサイトの）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |

3　について(2)

のについてそれぞれどのがあるか、にならってとコメントをいてみよう。

|  |
| --- |
| 1. （にする、にでく）   例　40％　（はにするだろう）   1. （がするをぐ、またはらをちげる）   例　40％　（かのをして、にはしてみたい）   1. ・（・を、にができればでく）   例　10％　（どもが2になるまでは、をするだろう）   1. （できるだけくをけたい！　にたくない）   例　5％　（にして、をびたいちもしある）   1. （にしていない）   例　5％　（60までになをつくり、めにしてでしたい） |

4　とについて(1)

とについて、いはだろうか。

|  |
| --- |
| とは・・・  とは・・・  （/インターネットサイトの）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |

5　とについて(2)

インターネットで「」をべ、どんな「()」があるかしてみよう。

|  |
| --- |
| A ，  大分類B ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類C ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類D ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類E ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類F ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類G ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類H ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類I ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類J ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類K ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類L ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類M ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類N ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類O ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類P ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類Q ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類R ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類S ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類T の |

6　とについて(3)

「」の「()」のうち、があるものをにならってきだしてみよう。

|  |
| --- |
| (例：　G－、39－サービス、391－ソフトウェア、3914－ゲームソフトウェア)  1)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  2)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  3)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  4)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |

7　とについて(4)

インターネットでどんな「」があるかをべ、してみよう。

|  |
| --- |
| (例：　) ・ ) 、、、 )  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  大分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中分類)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  （インターネットサイトの）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |

8

にならってをしたをててみよう。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | |
| 2019年4月 |  |  | 18 |  |
|  |  |  | 21歳  22歳 |  |
|  |  |  |  | に |
|  |  |  | 26歳 | ()を、 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  | 32歳 | のをえる |
|  |  |  | 35歳 |  |
|  |  |  | 37歳  38歳 |  |
|  |  |  | 39歳  40歳 | の（アグリビジネスに） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  | 55歳 | マレーシアに |
|  |  |  | 60歳 | をにね、セミリタイア。マレーシアに |
|  |  |  | 75歳 | 。にリタイア |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  | 88歳 | このとおれ |
|  |  |  |  |  |

9　コースについて(1)

では、20194よりたに3つのコースをします。インターネットあるいはパンフレットをて、それぞれのをまとめてみよう。

|  |
| --- |
| 1. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ コース   キャッチフレーズ　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  コースカリキュラムからあるを3つしてみよう。  ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  せる　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_   1. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ コース   キャッチフレーズ　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  コースカリキュラムからあるを3つしてみよう。  ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  せる　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_   1. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ コース   キャッチフレーズ　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  コースカリキュラムからあるを3つしてみよう。  ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  ③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_\_\_  せる　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿\_\_\_\_ |

10　コースについて(2)

では2より、それぞれのコースにかれてよりなびをしていきます。1, 6＆8として、がのあるコースはどれでしょうか。とともにえてみよう。

|  |
| --- |
| ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ コース |

11　について

ではをしてチャレンジできるがあります。また、「SUZUKA TRY!」というで、()をし、のサポートをしています。のウェブサイトを、これらをべてみましょう。

|  |
| --- |
| をしてチャレンジできる          「SUZUKA TRY!」でできる |

12

のコラム「でをぶか、なぜでぶのか」をんで、をいてみよう。

|  |
| --- |
| ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |

でをぶか、なぜでぶのか

はじめにをけるためにっておきますが、「をぶか」とは、としてめられたをぶ、といったカリキュラムのではありません。もっとそののやにわるいかけであるとってください。

「でをぶか」、「なぜでぶのか」――これはにのいはあれ、からりされてきたいのようにいます。このをいているも、にたようなのやをんだようながあります。そのでは、もいされたでありきたりないかけなのかもしれません。

しかし、でありきたりであるからといって、そのいかけがであることをすものではありません。りしいされたということは、そのいがにえることがしいいであるか、あるいはたとええがわかったとしてもえのをえずしすがあるということをしているのかもしれません。げさにするならば、に「」がつからないい、えのうい、といってもよいでしょう。

とはいえ、このいになえをすことは、してしくはありません。えは、「のになやをにつけるため」、「になをするため」、といったにしうる（とわれる）・があるもあれば、「やをげるため」、「をにつけるため」といったらのをにしているもいるかもしれません。

ところで、そもそも、そのようないかけなどくえることなくまでごしてきた、「みんなにくから」、「がへけというから」した、というもにはいることでしょう。あまりできるではありませんが、そういうはしくないとわれます。しかし、への・には、でをぶかなどからなかった、そもそもえたことすらなかったが、をけていくで、なりにをしめ、それにじて「をぶべきか」についてがられてきたという人もにはいることでしょう。になもしないままをけているうちに、がすべきをしだいにするようになる、というはにもあります。ですから、で「をぶべきか」からないからといってするはありません。

ともあれ、「でをぶか、なぜぶか」といういには、のえがであり、そのどれもがあるはしいけれども、にまた、そのどれもがなえとはなりません。

そのことをしたうえで、でぶことの・をうならば、えのつは、さらなるへの・モチベーションの、にあるのではないでしょうか。つまりのある・をんだことで、「にもっとびたい」、「もっとくびたい」というちがされることです。しい・・をというやは、してになってからでもすることです。しかしのそうしたは、のきいにがなく、らののにられてやむなくしただけ、というがなくないでしょう。「データ処理のためにExcelのツールをてでマスターした」、といったがわかりやすいことといます。

でぶことのつのは、ある・をすることで、「い！　もっとりたい！」とでうかどうかにかかっています。のことがらを、のやのにられてやむなくぶのではなく、・にぶや、さらにはびをいだすことにあるのです。をえるなら、のびのつのとは、「ぶことの・・・をぶこと」をがすることができるかどうかにあるといえます。からにされたをこなすだけのは、かもしれませんが、でしかないものです。しかし「い！　もっとく・く・くびたい！」とでえるようになればしめたものです。それまででしかなかったもにならなくなり、とはみるみるらみ、さらなるとがいてきます。のだけではもうできなくなるのです。

ただしこうした「」にするためには、まことにながらくの、だけれどもでなをあるのしてけるがあります。をにあやつるなでもやをでしたりしたりするがあったはずでしょうし、あのイチローもシートノックとバットのり、といったつまらないをとりしたがあったことでしょう。くのはこのでしていきます。もうちょっとればにがけ、にれる、というでする、めるというがいのもなのです。

はまでよりになをえ、でべるとおり、のでがします。したがって、ならがぶしさにめるをにめているなのです。ただしその「」が「」のものとなるためには、のたゆまぬとはもとより、ののもとなります。ぶしさ・びは、ってっていればこうからづいてくるというものではないからです。

「ぶ」ことのを、・の、といったややいにするなら、ぶことの・をえるは、ひとであればよりもずっとでした。しかしはいます。インターネットをはじめとするITや各種通信サービスのにより、ありとあらゆるがやをわずににるです。しならのなのでしかけなかったようななやが、バスやのホームのスキマでスマホのからでもることができるようになりました。じっさいでののをインターネットでにしているのもしくありません。このようにな・のとは、しまでは、の、とをする、したがってのにしかできないだったかもしれませんが、ではアクセスしようとえばにでもでき、そのためのももたいしてかかりません。ひとならは、なを教え、ぶというなをできたかもしれません。けれどもはそうではありません。そうしたので、でぶはなのか、なぜでなければいけないのか、にをくももまでになくしくわれています。「ひとならよりラクだった」とにのはそういうなのです。

がしているのしさは、やをするがしてにあるということにとどまりません。やをえる、ということだけでなく、・を「どのようにするか」、したを使ってのにどうするかをえることもめられています。・それのだけでなく、･のの「・・・」、・の「」をすることもののなとなっています。

でにってのいうことをおとなしくいていればいい、というではなくなりました。でからにえをけるのは、でもそのをしてったわけではありませんが、にとかくつきものとされたでなにんじることなく、がらをち、に、にアクションをこしてからをにつけるながされています。でもそうしたがされているかもしれませんが、ではそのがにくなります。そのようなをするなもくのでにけられています。「をぶか」だけでなく、「どのようにぶか」もわれ、そこでは「でぶ」、つまりらをあるいはし、それをするをでする・なをえるかどうかもわれているのです。こうしたはからありました。しかしそれらはくの、なるスローガンやモットーにわっていました。ではこうしたが、のなカリキュラムとしてされ、されています。えば「フィールドワーク」、「アクティブラーニング」、「」といったがそれにします。これはとりもなおさず、そうしたらをししてゆくがのではにもされていることのなのでしょう。

のでえられている・は、よほどであるいはなものでないり、そのどがインターネットのでアクセスすることができるでしょう。しかしネットをびうは、をけば、ももされず、にしていることがいものです。なや怪しげなもしで、にけっていることはでありましょう。ののでがつかなくなり、びとは「がしいのか、っているのか」かめようがないといえます。それにし、のは、はともかく、・をし、し、し、かつかりやすいでにけようとします。そしてけたにをちます。からのやがあればちにします（これらのをるならのとしてです）。

こういうと、「そのようなはまでのでもがけられているはずだ。もだけではないのではないか。」というがくかもしれません。かにそうでしょう。しかし、までとはなり、のでは、「これこれのことはえなさい」といった、（）からされたやマニュアルのようなものはありません。てのはにの「り」なのです。のテキストをうかわないか、うとしたらどんなにするか、どのポイントをにするか、どんなツールやをするか、どんなにするか、てはののにねられています。のは、のでをできるがある、すべきな授業モデルがないで、に「を」、「どのように」ばせるか、をにでえけなければなりません。これはのである、もえないものです。しかもには、やのににえるなをえつつも、ややのいをえてぶべきなをえる、というともにされています。にされているこうしたのを、のにらのとで「としんで」するのはののです。というもなかなかではないことがおわかりいただけるでしょうか。

えてみれば、「をぶか」、「なぜぶか」は、もだけにげかけられたいではありません。あらゆるがえずえけるべきいでしょう。しかしまでとはなり、ではもものがきいのがです。は、カリキュラムでをされたのをけば、にをでします。もでをし、します。このようにのがきくがきいからこそ、では「をぶか」「なぜぶか」が、の機関よりもにわれるのでしょう。ことはだけではありません。にとってはでにえるがくあります。もはいですが、それをするももももはやないし、をってかをできるもほとんどされていません。しかしはいます。もく、もも、そしてのもたっぷりあります。「ぶ」を、のにすることなく、またにやをやすというにめず、・・をにつけることでをえる・をめる、のをげる、というにくえるなら、こそはこのをえるのとなのです。これほどまれたとはおそらくにしかありません。このとをにうか、にごすか、にはにかかっています。もがをしてごすようすることはあります。しかしはのにかかっているのです。それがというところです。

・のとが、いつでもどこでもでもにできるようになっただからこそ、「をぶか」、「どのようにぶか」が、かつてないほどしくわれています。そのいかけにえるがもいのは、をおいてにはありません。あなたも、「でをぶか」、「なぜでぶのか」、いまえてみてください。